ミヤザキサンが、





























な雰囲気に包まれました。

手が飛び交い

会場内は和やか

声や「それもあったね」という拍 のを私も描いてしまった」などの 絵を発表する場面では、 チに向き合いました。



ミヤザキさんは、

このワ

返りながらそれぞれが思う故郷 これまでの思い出や体験を振り ショップは「アー う問いに対して、 さんの住む福智町といえば」とい す」と子どもたちへ個性を尊重 みんな違うからこそ面白いんで 違うことを描くことこそア マネをして上手に書いたりする ミヤザキさんの思いを「オンリ することの大切さを伝えました。 ことではありません。 ともたち。 ザキさんから出された「みな ム」を通じて体感した子 最後のお題としてミ トとは、 子どもたちは みんなが 誰かの

藤田 心結 さん 市場小学校 5年生

思い出いっぱいの赤池駅

家族との思い出がたくさ

ん詰まった「赤池駅」を

思い浮かべました。春に

なると家族と一緒に駅前

の広場で桜のお花見をしま

す。さまざまな土地に色ん

は私にとって特別な駅です。

ありますが、赤池駅

町の小学生が描いた 「福智町にはこれがあるよ!」

茶末 あいり さん 弁城小学校 6年生 弁城地区の田んぼの景色



弁城小の近くでは、田ん ぼの景色が広がる場所 が多く、学校でも3~6 年生の授業で稲を植え、秋 には収穫し、白米にして食べ ます。授業での思い出なども 含めて田んぼの景色は福智

町の景色だなと感じました。

福智町名産の「赤池梨」 は毎年、収穫される時 期に給食にも出るし、家 族と家で食べたりします。 ってもジューシーで、ほ 夏時期にしか食べられない 私の大好きな故郷の味です。

森 美咲 さん 金田義務教育学校 6年生

WORKSHOP

ミヤザキさん が考案した

「オンリーワンゲーム」で見つけた自分の独自性

世界中で活躍する画家・ミヤザキケンスケさんが作ったオリジナルゲームで ペイント前のワークショップが行われました。このゲームを通してミヤザキさんが伝えた 本当のアートの価値や子どもたちそれぞれに大切にしてほしいこととは何だったのでしょうか。

> 年越しに実現した「スーパ たくさんの人の想いが結実し

や呼びかけで集まったボランティ 候でしたが、子どもたちの家族 の日。両日ともあいにくの悪天 年応募してくれた子どもたちに 加することが決まりまし そして迎えたプロジェクト本番 40人が集合。巨大な電車のスタッフなども合わせ総勢約 参加してほしい」と日程を追 6年生31人は20日、 人は21日に参 去年参

した1日だけの企画でしたが「去 小学6年生だけを対象と レインプロジェクト ミヤザキさんからの出題に対し 種多様に存在するお題への回答。 や「菜の花」など、想像すれば多 といえばというお題に対して桜」 出題されたお題に対して キさんが子どもたちと一緒に るというゲ ものを想像しながら絵で表現 実際に車両にペイン いかに「なるほど!」と思え ークショップとして ワンゲ ム」を実施。

人と違

例えば春

子どもも大人も大白熱 オンリーワンゲー

スク越しに頬を緩めていました。

夢の

トプロジェクト

年越しについに実現

ミヤザキ ケンスケさん Miyazaki Kensuke

1978年佐賀市生まれ。筑波大学を卒業後、 ロンドンに渡ってアート制作を開始。「Super Happy」をテーマに、見た瞬間、最高に幸せにな れる作品を展開。現在、世界中1年に1度、壁 画を残す活動「Over the Wall」を主催し、現地 の人々と数々のプロジェクトを実現しています。

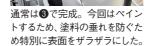
SuperHappyTrain のキャンバスができるまで

トする前

ミヤ

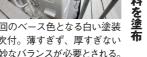


たちは頭をひねりながら、





今回のベース色となる白い塗装 を吹付。薄すぎず、厚すぎない 絶妙なバランスが必要とされる。



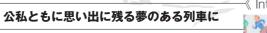
塗装を剥いだりして凸凹になっ た箇所を「パテ」と呼ばれるもの

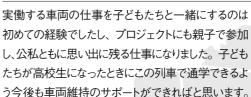


で埋め、表面をフラットにする。



新しく塗る塗装の剥げやひび割 れを防ぐため、元の車両「菜の 花号」の塗装をきれいに剥がす。







5 | FUKUCHI